

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援センター スマイル		
○保護者評価実施期間	2024年10月21日		2024年11月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		2024年12月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近隣の商店街との関わり	商店街や近隣店舗に買い物に行ったり、地域の方との交流が増えるように、毎週水曜日に清掃活動を取り入れています。また、ハロウィンの時期には商店街の方にも協力して頂き、交流イベントを実施しています。	今後も商店街や近隣店舗への買い物や交流イベント、清掃活動等で地域との交流の場を持っているような活動を企画していきます。
2	利用者の年齢層が幅広く様々な年齢の関わりが持てる	様々な年齢層の子どもが興味をもって活動に参加できるようにプログラムを職員間で話し合っています。また、中学生や高校生、小学校高学年の子どもにはお手伝いや活動の補助などもしてもらっています。	子ども一人ひとりの発達特性に応じ、積極的に活動に参加できるようにし、楽しみながら活動に参加できるようにしていく。年齢に応じて、リーダー的な役割を提案することで自信を持てるようにしています。
3	室内での活動だけでなく、屋外での活動を取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	長期休暇等のお出かけは電車を使うことで公共でのマナーや切符の購入方法など日常生活に必要な知識を身に付けることができるよう取り組んでいます。普段の買い物学習も、室内だけではなく近隣店舗への買い物を実施することで、セルフレジの操作等も学べるようにしています。	活動内容も、職員が考えるものを取り組んでもらう形が多いので、今後は子ども達が主体的に活動を考え取り組めるような機会を作っていけるよう工夫していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内には学習スペース、活動スペースを分けメリハリをつけることはできているが、活動スペースに限りがある。また、部屋数が少ないため、クールダウンする部屋がない。	部屋数が少ないため、子どもが常にいる状態なのでクールダウンが必要な際には、周囲が気になってしまいなかなかクールダウンできない。また、高学年になると運動を取り入れた集団でのゲームは狭さを感じることもある。	必要に応じて、別紙筒への移動を促したり、子ども達が落ち着けるような空間を段ボール等で設けたりしている運動面では、天気の良い日には近隣の公園に出かけています。
2	入職から日が浅い職員が多く、ご家族との面識がまだ薄い職員が多い。	保護者との面識や担当者会議に出る職員が限定されている。	様々な職員が保護者との面識が持てるように、会議への工夫、情報発信の工夫を行っていきます。
3	専門職による支援	作業療法士、言語聴覚士、心理的支援など専門職による直接支援が望ましいが、現段階では、確保することはできていない。	必要な人材確保ができるまでは、現有的支援者が研修を重ね専門性に繋がる支援に取り組んで行けるようにしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2025年1月21日				利用児童数	回収数
こども支援センタースマイル						43	35
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91%	9%	0%	0%	走ったりできる空間があるので良い と思います。	見守りを徹底し、今後も使わない机を 片付けたりするなど、過ごしやす い空間作りや活動しやすいスペースの確保 を目指していきます。 一日の利用人数は10人定員です。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	74%	9%	0%	17%	実際のところどれぐらいの職員が いるのか把握していない。 たまに余裕がないと感じる時 がある。	法令で必要とされる人数配置をして います。 引き続き、活動内容に応じた人員配置 を行っていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バ リアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思 いますか。	91%	3%	0%	6%	視覚支援などわかりやすく書かれて いると思います。	建物外にはスロープがあり、事業所内 も段差のない構造となっています。一 日の流れ等はホワイトボードを活用し ています。今後も安全に配慮し、視覚 を意識したわかりやすい伝え方を続け ていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	97%	3%	0%	0%	清潔な環境だと思います。	利用児童の通所前と降所後に清掃及び 消毒を行っています。活動時も温度管 理やこまめな換気を行うようにして います。また、学習に取り組みやすいよ うに部屋を分けています。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性 のある支援が受けられていると思いますか。	91%	3%	0%	5%	アドバイスが頂けるので子育てが しやすくなった。 いつも相談にのってくださり、本人 についてよく知ってくださって いる。 職員によって差があるように感じ ている。	引き続き定期的にアセスメントを行 い、保護者の方と一緒に今後の課題や 支援方針を検討していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援 内容と合っていると思いますか。	86%	0%	0%	14%		今後も引きアセスメント等を行い、保 護者の方と一緒に今後の課題や支援 内容を検討していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客 観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計 画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		職員間で話し合いながら、子どもの発 達状況に合わせて、個別、集団での支 援を組み合わせながら支援計画 を作成していきます。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支 援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課 後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目 が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されてい ると思いますか。	94%	0%	0%	6%		計画を立てる際に保護者様との面談を し、現状と今後の課題についてアセ スメントを行い、その内容をもとに個 別支援計画を作成しています。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行 われていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		支援計画の内容を毎日のミーティング で個々の活動を話し合っ て職員間で共有し、支援計画に基 づいて支援を行って いきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	91%	3%	0%	6%	週によって違う活動になるように配 慮して頂いていると思います。 お出かけに行ける子が限られてい てかわいそうなどときがある。	継続して行うプログラムも入れつつ、 活動に対する意欲がなくなる ためにも職員間で意見を出し 合い、沢山の体験や経験が 出来るように取り組んで いきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童 館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会があり ますか。	17%	9%	20%	54%		現状、そのような機会を持つことは 難しいですが、機会があれば参加 出来るように検討していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	91%	6%	0%	3%		見学時、契約時に説明して います。質問があった時にはその 都度、ご理解いただけるよう に説明していきます。
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、 支援内容の説明がなされましたか。	94%	0%	0%	6%		個人懇談を行い、支援計画に基 づいて説明し、ご理解いただける ように説明していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレー ニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行わ れていますか。	68%	3%	6%	23%		ペアレントトレーニングについて は、実施しており、今後も保護 者と一緒に考えたり、可能な限 り研修会のお知らせや交流の場 の提供などを行っていきます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	職員の方によって差があるように感じ る 子どもの事をよく知っていただいで いるので、相談しやすいです。	事業所での様子等で連絡帳に記載して います。また、送迎時に直接保護者に 報告したり、家での様子を尋ねるな ど、共通理解に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	94%	6%	0%	0%	アドバイスがいつも参考になってい ます。	今後も引き続き保護者の方が相談しや すい場を提供できるようにしてい きます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	相談にのっていただきたいときに、 いつもすぐに相談にのってくださ っています。	今後も職員間で情報を共有し、より良 い支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされています か。	68%	23%	0%	9%		状況に合わせて開催し、複数の保護者 に参加していただきました。今後も引 き続き継続し、内容等も検討してい きます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	83%	6%	0%	11%		苦情があった場合には、原因、改善点 について職員間で話し合い、迅速かつ 丁寧に対応するように心がけていま す。基本的には事業所の管理者が対応 させていただいております。引き続 き、ご理解いただけるようにしっか りと説明していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ ていると思いますか。	94%	6%	0%	6%	送迎の時に詳しく様子を伝えてくだ さっています。	必要に応じて、口頭ではなく連絡帳な どの書面による伝達、コドモンを導入 しその日の様子や知らせを発信してい ます。子どもとの意思疎通については 必要に応じて視覚支援の対応等を行っ ていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連 絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者 に対して発信されていますか。	86%	3%	0%	11%	写真に写っていないことも多く、も う少し子どもの様子が知れたら嬉し い。	コドモン等にアップする子どもの写真 が偏らないように、その日アップする 子どもを事前ミーティングで決めてお き、偏りのないようにしていきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	80%	3%	3%	14%		個人ファイル等、個人情報等の取扱い については、職員間で他者の目に触れ ることのないように徹底し、事業所内 の施錠を行う等対応していきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マ ニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説 明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されています か。	68%	3%	0%	29%		各マニュアルを事業所内に提示してお り、事業所内研修を行いマニュアル対 応について話し合いを行っています。 保護者様に周知して頂けるように年度 ごとなど定期的に配布しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必 要な訓練が行われていますか。	77%	6%	0%	17%		月に一回避難訓練（災害・地震・不審 者侵入）の実施を引き続き継続してい き、子どもたちの安全に十分留意させ ていただきながら、緊急時の対応を子 どもたちにも周知していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知され る等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思 いますか。	77%	3%	0%	20%		今後も引き続き、十分な安全確保の上 非常災害時の支援を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連 絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いますか。	80%	6%	0%	14%	未だにその経験がないため。	今後も、引き続き保護者の方への迅速 な対応を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	97%	0%	0%	3%	小さい頃から通っているので安心し て過ごせています。	子どもが安心して通所し、居心地の良 い場所となるように環境づくりを行っ ていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91%	3%	3%	3%	毎日楽しみにしています。 毎日楽しみにして友だち作りの 場となっています。	今後も、子ども達が楽しく通えるよう にプログラムやイベント等を職員間で 話し合い実施していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	97%	0%	0%	3%	子どもも安心できる場所になってい て親も精神的な部分を助けていただ いています。	今後も引き続き保護者の方にも満足 していただけるように職員一同でより良 い支援を提供できるようにしてい きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども支援センタースマイル		公表日 2025年1月21日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	法令に遵守したスペースの確保をしています。支援に合わせて、部屋を分けたりするなどの配慮をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	44%	56%	法令で必要とされている人数配置をしています。	職員の人員不足が課題である。その点を改善すべきである。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	78%	22%	建物外にはスロープがあり、事情所内も段差のない構造となっています。一日の流れや伝えたい内容については、ホワイトボードを活用し、視覚で分かりやすくしています。	もう一室、子どもが落ち着くための仕切りをつけた空間があると良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		利用児童の通所前と降園後にも清掃及び消毒を行っています。活動時も温度管理やこまめな換気を行うようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	78%	22%	常時設備はしていませんが、状況に応じて対応しています。	部屋数が少ない
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		支援の前後にミーティングを行い申し送りや振り返りを行って職員間で情報共有をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎年、保護者向け評価表のご意見、結果を全体で共有し、改善点などを話し合いをしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	支援前後のミーティングの時に、職員の意見や支援中での困り事などを振り返り、支援の方法を話し合う機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	89%	11%	現在、実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	89%	11%	研修のお知らせを随時職員に知らせており、研修を受けた際は全体ミーティングを利用し研修報告を行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		様々な職員がプログラムを立案し、ミーティング等で話し合い決めていきます。また、保護者の方にはコドモンを使いその日の活動の様子等を配信しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	100%		計画を立てる際に保護者様と面談をし、現状と今後の課題についてアセスメントを行っています。その内容をもとに個別支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		支援開始前にミーティングを行い、職員間で連絡事項、注意事項、役割分担の確認を行っています。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		個別支援計画に基づいた支援を行い、毎日のミーティングで個々の活動を話し合ったり記録し、職員間の共有理解を深め、支援にあたっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	89%	11%	子ども一人ひとりの特性や興味等支援前後のミーティングや業務日誌を通じて職員間で共通認識をしています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		令和6年度の指導改定より、5領域に基づき、子どもの支援すべき優先順位項目を設定し、支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		様々な職員が立案し、ミーティング等で話し合い決めています。各曜日の活動のプログラムを考え、担当を決め、職員全体で活動内容の工夫をし、改善するようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		全体の活動は、週単位・月単位でプログラムを作成しています。個々の興味や発達の特性に応じた課題や活動ができるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100%		個別支援計画に基づいた支援を行い、毎日のミーティングで日々の活動を話し合い記録し、職員間の共通理解を深め、支援にあたっています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		支援開始前にミーティングを行い、職員間で連絡事項、注意事項、役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		支援終了後にミーティングを行っています。その日の利用者一人ひとりについて振り返りを行い、業務日誌等にも記載し、情報の共有を行っています。また活動の改善点を話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		当日の振り返りをもとに個々の支援を記録し、支援の検討、改善を継続して行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的な懇談（モニタリング）を実施し、半年に一回支援計画の評価、見直しをしています。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	89%	11%	4つの基本活動をしっかりと把握し、提供すべき支援を組み合わせ、本人や家族への支援を行っています。	
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		活動の中で子ども達がやりたいことを話し合っているなどの活動を取り入れており、自己決定の力が身につくような支援を工夫して行っています。		
関係機関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者が参加し、会議報告は職員会議、またはその日のミーティングで報告しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用はありません。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	89%	11%	現在、実施していません。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	78%	22%	現状そのような機会を持つことは難しいですが、機会があれば参加出来るように検討していきます。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		事業所での様子等で連絡帳に記載しています。また、送迎時に直接保護者に報告したり家での様子を尋ねるなど、共通理解に努めています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	11%	ペアレントトレーニングは実施しており、今後も保護者と一緒に考えたり、可能な限り研修のお知らせや交流の場の提供などを行っています。	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				

保護者との連携	33	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	34	【 <u>児発センターのみ</u> 】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	35	【 <u>児発センターのみ</u> 】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	36	【 <u>児発センターのみ</u> 】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
保護者への説明等	37	【 <u>放デイのみ</u> 】 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%		保護者の方や学校との連絡を密にし、トラブルが発生した際のマニュアルなどを作成し、情報共有が円滑にできるよう努めている。
	38	【 <u>放デイのみ</u> 】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		担当者会議に参加し、他事業所との情報共有や必要に応じて学校との情報強風を行っています。
	39	【 <u>放デイのみ</u> 】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	89%	11%	相談専門員からの依頼や担当者会議等で、これまでの支援内容の提供を行っています。
	40	【 <u>放デイのみ</u> 】 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	89%	11%	現在、対象になる子どもはいません。
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		見学时、契約時に説明しています。質問があった時にはその都度、説明しています。
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		モニタリングで支援計画を示し、説明しながら保護者の方に同意を得ています。保護者の希望や意思を確認しながら支援計画を作成しています。
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		個人懇談を行い、支援計画を基に説明しています。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		保護者の方から希望があれば直接会って相談を聞いたり、電話で話したりしています。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	今年度も昨年同様、コロナ感染の影響も緩和されたので状況に合わせて茶話会を開催し、複数の保護者に参加して頂きました。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情があった場合には原因、改善点について職員間で話し合い、迅速かつ丁寧に対応するように心掛けています。
47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月「スマイル便り」を発行し、月単位、週単位の活動予定や行事予定、連絡事項、事業所の様子をお知らせしています。コード	
48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人ファイル等、個人情報等の取扱いについては、職員間で他者の目に触れることのないように徹底し、事務所内の施錠を行う等対応しています。	
49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		必要に応じて、口頭ではなく連絡帳などの書面による伝達、コードモンを導入しその日の様子やお知らせを発信しています。子どもとの意思疎通については必要に応じて視覚支援の対応等を行っています。	
50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	89%	11%	商店街や近隣店舗に買い物に行ったり、地域の方との交流が増えるように、毎週水曜日に清掃活動を取り入れています。ハロウィンの時期には商店街の方にも協力して頂き、交流イベントを実施しました。	

	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		ご相談いただいたことに、共に考え対応しています。必要に応じて、相談専門員への相談や他機関の紹介を行っています。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	89%	11%	各マニュアルを事業所内に掲示しています。また事業所内研修を行いマニュアルや対応について話し合いを行いました。保護者に対しては、災害時等の対応マニュアルを配布しています。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	89%	11%	月1回避難訓練を実施しています。 （火災・地震・不審者侵入）主に地震発生時の訓練をしています。また災害時の避難場所を確認する活動を取り入れています。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時に保護者から聞き取りを行い、全職員が周知できるようにマニュアルを確認しやすい場所に示しています。	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約時に保護者から聞き取りを行い、アレルギーのある児童について全職員に分かりやすいように示しています。アレルギーのある児童についてはその日の日報に緊急事対応の担当を振り分けています。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全管理には全職員が十分周知したうえで、支援を行っています。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約やアセスメント等で保護者の方に丁寧に説明し、保護者の方にも周知して頂けるようにしています。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		職員からの報告を受け、ヒヤリハットを作成しています。事業所内会議で全職員に報告し、対策を共有しています。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止委員会を設置し、1年に複数回、研修を行い、事業所内での虐待や利用者の中で虐待の疑いがある可能性のある人には虐待に関する個人記録をつけたりと対策をしています。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	89%	11%	支援の内容において、やむを得ず身体拘束が必要な場合には、事業所内でしっかりと話し合い保護者にも説明、了解を得ることとしています。	